

緊急財政対策計画、3年間で21億円の財源不足

令和2年度 削減目標は7億円

懸念される市民生活への影響

小郡市議会議員 しんばる善信後援会だより

つなぐ

発行
しんばる善信後援会
小郡市小郡1304-2
0942-73-2123



市長の決断と覚悟を問う

しんばる議員は、5月末に出された市の「緊急財政対策計画」の具体的な進め方について質問しました。特に問題としたのは、市長以下、全職員、議会、市民が小郡市財政の厳しい現状認識を共有すること、そのために情報開示とていねいな説明を続けること、職員間の信頼関係が重要であること、そして、削減、つまり事業廃止に当たっては、市長の決断と、予想される反発批判には市長が責任を持つてこたえる覚悟が必要であることでした。

投資的経費

1億5千万削減

道路改良や公共施設の新築改修などの投資的経費は、新規は凍結、継続は、期間延長や縮小により1億5千万円削減するとしています。懸念であった新体育館の建設や消防署の建替えについても厳しい判断を迫られています。市民の期待に沿わず反発も予想されるなか、市長の決断と覚悟が求められます。

全職員が財政状況を認識することが重要

職員は、それぞれの担当する部署で市民の願いをもとに事業を実施しています。そのための予算を財政課に要求するという仕組みです。これまで、あまり財政を考えず「お金のことは財政課に任せる」という意識がありました。財政課は少ない予算をやりくりするのに四苦八苦し、削れば文句を言われる立場でした。

これからは、それぞれの担当職員に財政を意識して、事業に優先順位を付けたり、廃止、縮小したりするという難しい判断が求められます。当然利害関係にある市民の反発対応に悩む場面が多くなります。

全責任は

市長が負う覚悟を

しんばる議員は、事業の廃止、縮小、見直しの最終的な判断と責任は市長が負うのかと尋ねました。これに対し、加地市長は「当然、最終的な責任は私が負うべきと思っています。職員に過度なストレスが発生しないようさらに対話をしていきたいと考えています。」と答えました。

人件費削減、

業務精選がカギ

人件費増の要因、1つ目は、子育て支援や高齢者施策、災害対応の職員増、若い職員育成のための退職者

再任用による職員増です。2つ目は、時間外勤務増に伴う手当の増加です。どうやって減らすかとの問いに対し市長は、まず事務事業の廃止縮小統合で時間外勤務を削減した上で、適正な職員数や人員配置を行うとの考えを示しました。

ピンチをチャンスに

しんばる議員は、この難局を乗り越え強固な財政をつくるために加地市長には不退転の決意を求めるとともに、自らも議員の立場で財政再建の責務を果たしていくと述べました。

緊急財政対策計画（令和2～4年）
（単位：百万円）

	令和2	令和3	令和4
財源不足額	700	651	795
基金残高(市の貯金)	1,081	960	1,145

ネット依存症急増 5年間で2倍 中高生93万人 スマホに壊される子どもたち

厚生労働省は、中高生の病的なネット依存が7人に1人、93万にも上ることを明らかにしました。スマホ、タブレット等インターネットメディア機器とLINE、ツイッターといったSNSの急速な普及は、子どもの成長と生活に劇的な変化をもたらしています。子どもたちのことばや精神面の発達に影響するだけでなく、いじめなどの温床ともなっています。しんばる議員は、メディア利用のマイナス面を認識することが大事だととして、乳幼児期からの教育啓発に力を入れるよう求めました。

スマホしながら授乳

スマホをいじりながらの授乳は、赤ちゃんの「アー」「ウーウー」に対し、この時期大事な話しかけができずことばの発達に影響します。

スマホに子守をさせないで

赤ちゃんの成長には、機械ではなく生きた人、自然物とのふれあいが何より大事です。テレビやビデオを見せておけばおとなしくしているからと言って任せきりは後々悪影響が出るので好ましくありません。

2歳までは テレビスマホを 消してみませんか

日本小児科医学会では、「2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう」と呼びかけています。メディア漬けで子どもたちの人格形成や生きていく感覚に大きなゆがみが生まれ社会性を身につけられない奇妙な人間が誕生し始めているという指摘もあります。

子どもの視力悪化 史上最悪

スマホなどの発するブルーライトは網膜まで達し目にダメージを与えます。また、

目との距離が20センチ以下で読書の際の30センチより近く視力低下の原因になっています。

返信ストレスで睡眠不足

中学生が友だち同士でSNSでやり取りする時、すぐに返信しなければならぬ強迫観念で疲れている話を聞きます。また、短いことばのやり取りで誤解を生み関係がこじれてしまい悩むケースも出ています。

利用時間長いほど 学力低い

文部科学省の調査では、スマホやネットの利用時間が長いほど学力が低いという結果が報告されています。

ネットから子どもを守るのは大人の責任

タバコのパッケージには、「喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなり

ます。疫学的な推計によると、喫煙者は肺がんにより死亡する危険性が非喫煙者に比べて約2倍から4倍高くなります。」と表示することが法律で義務付けられています。

スマホやタブレット、ゲーム機も依存症になると社会生活ができなくなる恐れがあります。昨年、子どもとメディア全国フォーラムは、国に対しメディア機器企業に「発達や健康への影響が懸念されています」等の注意喚起文表示を義務付けるよう提言しました。

ネット利用のマイナ ス面の教育啓発急げ

既にネット情報社会は避けて通れなくなっています。しんばる議員は子どもたちの成長発達を守るためには、大人も子どもも正しく利用するための知識や方法をしっかり身につけることが大切として、市及び教育委員会に積極的な教育啓発の取り組みを求めました。

小郡市の非正規職員227人、全職員の38%

官製ワーキングプア解消するか

法律改正で待遇改善、人件費増が課題

令和2年度から国の法律改正で市役所の非正規職員の雇用制度が大きく変わります。これまで、それぞれの自治体ごとに雇用条件がバラバラだったものを統一し、公務員としての職責明確化と合わせ待遇改善をすることになりました。ただ、それに伴う人件費約6千万円の増加は、財政に大きな負担となるので小郡市も運用に頭を悩ませていきます。しんばる議員は、現在働いている嘱託職員等の収入が制度改正で減らされることのないよう求めるとともに、衆参両議院の付帯決議にもある国の財政措置を強く求めるよう訴えました。

新しい制度の名は
会計年度任用職員制度

現在、小郡市では常勤嘱託116人、非常勤嘱託87人、長期臨時職員24人、合計227人の非正規職員が働いています。その中には、図書館司書や管理栄養士、保健師、幼稚園教諭などの専門職もたくさんいます。しかし、待遇面で正規職員との間に格差があります。今後は、同一労働同一賃金に向けた改善が期待されますが、財政が厳しい現状では思うようにならず、国の財政措置が欠かせません。

常勤嘱託のほとんどが
パートタイムになる矛盾

財政再建中の小郡市では、現在の常勤嘱託職員全員をフルタイム職員に移行すると人件費が払えなくなります。このため、現在の勤務時間を30分短くし、パートタイム職員とすることで人件費を抑制しようとしています。仕事量が減るわけではなく、職員の負担が増し、かえって働きづらくなるのではないかとの懸念が出ています。職員の要望や実態をしつかりつかんで元気に働き続けられる職場環境をつくるよう求めました。

2年連続の豪雨災害、
抜本対策には国県の支援必須大崎地区住民との
意見交換会

昨年7月に続き、7月21日再び豪雨による浸水被害が出ました。特に大崎地区を中心に、床上浸水57件、床下浸水211件が発生。2年連続の被災住民も多く精神的、経済的負担は計り知れないものがあります。

小郡市の災害対応
大幅に改善

今回の水害では昨年と大きく違った点がありました。それは、小郡市の災害対策本部の動きです。情報収集、伝達、避難所設営等、大きく改善されました。

しんばる議員は、小郡市に対し、対策の現状を説明するとともに被災住民の実情を把握するため説明会を開くよう要請し、8月10日、約150人が参加して意見交換会が開かれました。この中で住民からは、市の対策の遅れに対する不満や水害への不安の声が続出しました。今後、対策には大規模な土木事業が必要なものも多く国県の支援が欠かせません。引き続き対策の強化を働きかけていきます。

しんばる議員は、昨年来2回にわたり議会質問でこの問題を取り上げ改善を求めてきました。当日も市内を巡回しながら市職員と何度も会いました。昨年の教訓が活かされていることを感じました。この間、改善に関わってこられた加地市長をはじめ関係職員の努力を評価したいと思います。

この1さつ



日本の子どもの自尊感情はなぜ低いのか
古荘純一 著

一部議員、議員報酬削減提案 協議継続の合意に反するとして不成立

小郡市財政が危機的であることから6月議会において議員報酬を削減するべきとの提起があり、議長は「今後、議会として協議していく」としていました。その後、この方針に基づき会派代表者会で協議が重ねられてきました。その上で9月末に出される市の歳出削減プランを見た後に結論を出すとの合意がなされていきました。それを待たず、今回一部の議員から削減議案が提出されました。しんばる議員は、報酬削減は検討するべきだが議員全員の合意が不可欠として反対しました。結局、提案は賛同を得られず少数否決となりました。この問題については議会として、引き続き議論していくことにしています。

提案の削減額は3%

今回提案されたのは、報酬(毎月と期末手当)を3%、6カ月間削減するといふものでした。削減額は、月額で1万3200円、期末手当で2万5千円の6か月合計10万4200円です。

過去にも削減あった

議員報酬削減については、歳出削減のため平成15年1月から22年12月まで2%削減しています。ちなみに、市長、助役(現副市長)、教育長、管理職等についても削減が行われた経緯があります。

これまでにあった報酬削減の経過

	H15.1 ~H17.3	H17.4 ~H17.6	H17.7 ~H22.12	H23.1 ~H25.6	H25.7 ~H26.3
市長	-5%	—	-10%	-10%	-15%
副市長 教育長	-3%	—	-5%	-5%	-10%
議員	-2%	-2%	-2%	—	—

議案(案)は

伝言ゲームではいけない

小郡市議会には会派代表者会があります。規約には、「各会派の意見の調整、連絡および協議を行う」とあり、議員提出議案や意見書案などの調整を行っています。国会でいえば国会対策委員会のようなものでしょうか。各会派の意見を調整することで議会運営を円滑に進めようというのです。代表者会で同意したもののについては、各会派は誠意をもって厳守することとなっています。これに照らせば今回の報酬削減案提出は、形としてこの同意に反することになりました。

しかし、話を聞けば、どうも代表者会での同意内容が伝言ゲームのように正確に伝わっていなかったように見えます。情報伝達の難しさを考えさせられました。(よし)

子どもに「がんばれ、がんばれ」とつい言ってしまいがちですが、それより大事なものは「よくやったね、がんばれたね」と評価してあげること。とにかく子どもを話を聞いてあげること、その際、親の意見を述べて

もいいが押し付けないこと。本の中の自尊感情を高めるため大人がするべきことで印象に残った内容です。著者は、児童精神科の医師で受診する子どもたちの自尊感情(自分を肯定的にとらえ自信や意欲につながる

感情)が低いことに危機感を持ち、現代の家庭や学校、社会と子どもの関わりを研究してきた現場人です。日本の子どもたちを幸福度で世界最低レベルにしているのは誰なのか、考えさせられます。